令和７年度　事業報告書

自　　令和７年　４月　１日

至　　令和８年　３月３１日

社会福祉法人　日高川町社会福祉協議会

法人運営部門

■法人の基盤整備・強化

１．各事務所における職員の連携と情報共有等（ミーティングの実施）

毎週月曜日に川辺事務所で会長も同席し、職員によるミーティングを行い、情報共有や事業にかかる事項（コンプライアンス、リスクマネジメント等含め）等を協議した。

２．理事会

理事会は意思決定機関として、事業経営ならびに法人役員としての責務を果たしながら、本会が抱える様々な課題を協議検討した。

回数 日時	出席者数 （出席/総数）	議題及び内容
第１回 6 月 5 日	理事（10/12） 監事 （1/2）	○ 令和６年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件 ○ 令和６年度監事監査報告 ○ 次期理事・監事候補者の提案に関する件 ○ 次期評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会令和７年度定時評議員会の招集に関する件 ○ 会長の職務執行状況の報告
第２回 6 月 23 日	理事（11/12） 監事 （2/2）	○ 会長・副会長の選定について
第３回 3 月 19 日	理事 （9/12） 監事 （2/2）	○ 令和７年度一般会計補正予算（案）に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会福祉基金の一部取崩しに関する件 ○ 中学校制服リユース事業に関する件 ○ 令和８年度事業計画（案）に関する件 ○ 令和８年度一般会計予算（案）に関する件 ○ 理事の補欠選任候補者の提案に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会令和７年度第２回評議員会の招集に関する件 ○ 評議員の補欠選任候補者の推薦に関する件 ○ 会長の職務執行状況の報告

３．監事会及び三役会

監事は定期監査を３ケ月ごとに実施し、その都度、預貯金通帳並びに会計諸帳簿の確認を行った。定期監査時には会長・副会長の三役も同席し、口頭にて指摘事項等を告げた。また、理事の業務執行状況を監査する立場から、全ての理事会に出席し意見を述べ、決算監査においては令和６年度の事業及び会計監査を実施し、理事会、評議員会で報告を行った。

三役会も３ケ月ごとに実施し、事業報告や当面の事業内容等について協議を重ねた。

	出席者数 （出席/総数）	議題及び内容
定期(1 回) 4 月 24 日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和７年１月から３月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和７年３月３１日付け残高を確認 ○ 合併２０周年記念事業について ○ 社協会費の件 ○ 今後の予定
決算監査 5 月 29 日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和６年度の法人運営や事業の執行状況、また会計における決算報告などを行う理事会・評議員会前の監査として実施 ○ 主として各種会計諸帳簿ならびに保有する普通・定期預貯金等全般についての監査を実施
定期(2 回) 7 月 28 日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和７年４月から６月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和７年６月３０日付け残高を確認 ○ 広域・同時多発災害対応訓練について ○ 今後の予定
定期(3 回) 10 月 27 日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和７年７月から９月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和７年９月３０日付け残高を確認 ○ 福祉サービス利用援助事業、街頭募金について ○ 備品について ○ 新年度にむけて、今後の予定
定期(4 回) 1 月 26 日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和７年１０月から１２月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和７年１２月３１日付け残高を確認 ○ 令和７年度社協会費報告 ○ 令和８年度町補助金要求額、令和８年度事業計画（案） ○ 今後の予定

４．評議員会

回数 日時	出席者数 （出席/総数）	議題及び内容
第１回 6 月 23 日	１２／１７	○ 令和６年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件 ○ 令和６年度監事監査報告 ○ 新理事・監事を選任する件

第２回 3 月 30 日	１２/１７	○ 令和７年度一般会計補正予算（案）に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会福祉基金の一部取崩しに関する件 ○ 令和８年度事業計画（案）に関する件 ○ 令和８年度一般会計予算（案）に関する件 ○ 大又哲治氏を理事として選任する件

５．住民会員制度（会員募集）

区　　分	令和７年度		令和６年度	
	加入数者	金　額	加入数者	金　額
一般会員	2，757 名	2，766，000 円	2,773 名	2,780,000 円
特別会員	11 名	46，000 円	12 名	47,000 円
施設・団体会員	24 団体	135，000 円	24 団体	135,000 円
合　　計		2,947，000 円		2,962,000 円

○一般・特別会員加入率　約　　７０．８％（令和６年　76.8%）
（加入世帯　　２，７５７世帯　　令和７年３月末日高川町世帯数（３，８９２世帯）

○福祉委員総数　２４６名（川辺　１５５名、中津　３８名、美山　５３名）
（民生児童委員・主任児童委員５４名含む）

○福祉委員会議の開催〔３地区〕
川辺・中津・美山の３地区ごとで福祉委員会を開催した。４～５月にかけて福祉委員の皆様方にご協力をいただき各戸への会員募集を実施した。

〈福祉委員会〉

川辺地区	４月２３日・２４日	農村環境改善センター	福祉委員　７６名
中津地区	４月２８日	日高川交流センター	福祉委員　１１名
美山地区	４月１８日	山開センター	福祉委員　１３名

会議内容：①令和７年度社会福祉協議会事業計画
②福祉委員活動について
③会員（会費）募集について

地域福祉活動推進部門

１．企画・広報事業

（１）町社協だよりの発行
区長のご協力を頂き町内に全戸配布した。
住民の福祉への理解促進のため毎月発行し、社協活動の見える化にも努めている。

（２）ホームページの運用
ホームページにおいて、社協の法人運営の取り組み、事業の紹介や地域の福祉に関する情報を随時掲載した。

（３）その他の情報発信等

必要に応じ地方新聞社２社に取材依頼や記事の掲載を依頼した。また、町内放送やアプリから社協事業のお知らせを発信した。

２．配食サービス（ふれあいにっこり弁当）

在宅高齢者の生活の支援と生活の質の向上を図るとともに、一人暮らし等高齢者世帯の安否確認を行い高齢者福祉の向上を進めることを目的として毎週１回実施。ボランティア、民生委員児童委員、福祉委員の協力で、昼食または夕食のお弁当を作り配達を行った。

※年間の調理数等の実績は次のとおり

		日高川町		
		川辺地区	中津地区	美山地区
利用者数	**７９名**	**３１名**	**１１名**	**３７名**
配食数	**３，３４６食**	**１，５１８食**	**４８４食**	**１，３４４食**
調理ボランティア（実数）	８０名	２０名	３６名	２４名
（延べ）	６５０名	１７０名	２２６名	２５４名
配達ボランティア（実数）	４９名	３１名	９名	９名
（延べ）	９２３名	３０２名	３３１名	２９０名

◇今年度は、ボランティア会員の慰労と親睦を兼ね、県外研修を実施した。

▹開 催 日：　６月２０日

▹場　　所：　神戸方面

アートアクアリウム・アトア（見学）　神戸モザイク（買い物）

メリケンパークオリエンタルホテル（昼食）

▹参加人数：　５０名

３．外出支援サービス（移送サービス）

一般の交通機関を利用するのが困難な、高齢者や身体障がい者の方に対して病院等へ送迎するサービスである。

車の運転は職員や運転ボランティアが対応した。なお、利用については、登録制としており年会費６，０００円の負担を頂いている。

			日高川町		
			川辺地区	中津地区	美山地区
登録者数		２４名	７名	７名	１０名
利用回数		２２９回	７５回	５１回	１０３回
目的	通院等	２１７回	６９回	４５回	１０３回
	買い物	１１回	６回	５回	０回
	手続き	０回	０回	０回	０回
	その他	１回	０回	１回	０回
運転ボランティア		４名	２名	０名	２名
介助ボランティア		０名	０名	０名	０名

４．福祉車輌貸出サービス

介護を必要とする高齢者や身体障がい児者の方で、車椅子ごと乗れる車を必要とする家族に社協所有の福祉車輌を貸出した。入退院や通院、行事参加、生活を営むための買い物等日常生活の利便性を図ることを目的に実施した。利用料は燃料費のみの負担である。

○　貸出回数　　３４回　（川辺２９回　　中津４回　　美山１回）

５．ふれあいいきいきサロン

○高齢者サロン　　（　）内は前年度

	日高川町			
		川辺地区	中津地区	美山地区
実施グループ数	２１ヶ所	７	４	１０
開催回数（延べ）	１７７　（＋６）	６４回	２４回	８９回
参加人数	１，９１０名（―２４）	７８８名	２７１名	８５１名

希望される地域には当会から出向き、出張サロンも行った。
２回（美山）実施　　２１名参加

６．喫茶サロン

喫茶サロンはボランティア運営により、年代や性別を問わず、地域住民の誰もが気軽に立ち寄れる「場」としてさまざまな人が参加でき、地域コミュニティとつながる「きっかけづくり」ができる場である。

喫茶サロン名	地区	場所	開催回数	備考
はな広場	三佐	旧たちばな保育所	１１回	平成 16 年 3 月～
ふたば	和佐	和佐児童館	８回	平成 18 年 10 月～
そうがわ茶屋	寒川	さかゑや	１２回	平成 22 年 6 月～

７．認知症カフェ（ひだまりカフェ）　令和元年１２月～

認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域住民等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として定着しつつある。認知症に関するミニ講座や予防体操、ゲストを迎えてのイベント等趣向を凝らしている。

※開催日は基本毎月第 3 火曜日

回数	日時	場所	参加人数	備考
第１回	4月15日	中津地区　健康管理センター	１４名	
第２回	5月20日	美山地区　山村開発センター	３０名	
第３回	6月17日	川辺地区　農改センター	３５名	
第４回	7月29日	中津地区　交流センター	１３名	
第５回	8月25日	美山地区　今西商店	１７名	
第６回	9月16日	川辺地区　農改センター	３０名	
第７回	10月21日	中津地区　交流センター	１４名	

第８回	11月18日	川辺地区　　農改センター	２５名	
第９回	12月16日	美山地区　　山村開発センター	３０名	
第10回	1月13日	中津地区　　交流センター	１２名	
第11回	2月17日	美山地区　　山村開発センター	２８名	
第12回	3月17日	川辺地区　　農改センター	２７名	
計			２７５名	

８．ふれあい広場（ひとり暮らし高齢者の集い）

概ね７０歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、社会参加や外出機会を促進し、対象者同士の親睦を深め、地域とのつながりをつくることを目的に実施した。

	川辺地区	中津地区	美山地区
開催日	１１月１３日（木）	１１月１０日（月）	１１月１４日（金）
行　先	海南市方面	白浜町方面	かつらぎ町方面
参加人数	２１名	３３名	３３名

９．保育所との協働事業（絵手紙・メッセージ作成）

園児と高齢者の世代間交流を目的に、園児が作成した絵手紙やメッセージカードを配食サービスのお弁当に添えた。今年度も、かわべ保育所・なかつ保育所の園児のみなさんにご協力頂いた。

10．福祉体験学習

〇高齢者疑似体験学習

加齢による身体的な変化を知ってもらい、高齢者の気持ちやコミュニケーションの取り方を学んでもらうことを目的に「高齢者疑似体験学習」を実施した。

▹日　時：　６月９日（月）　　６月１３日（金）
▹対象者：　川辺東小　５年生　２２名　　美山中　１・２年生　１７名

〇子ども福祉川柳募集

町内の小学校６年生を対象に「子ども福祉川柳」の募集を実施した。
子供たちにも福祉のことを少しでも考えて行動してもらうことをねらいに、学校のご協力を頂き、福祉に関する内容の川柳を募集した。参加賞として、図書カード（500円分）をお渡しした。応募いただいた作品はホームページにも公表している。

▹参加者　　６８名

〇サマーボランティアスクール

今年度は８月の夏休み期間中、小中学生を参加対象に、福祉・ボランティアへの理解を深める事を目的としてサマーボランティアスクールを開催した。

町内の各施設や各事業所等にご協力を頂き、体験学習に取り組んでもらった。

▹参加者　　１２名
（内訳）　かわべ西学童クラブ：４名　わさ学童クラブ：２名　　和佐の里：１名
　　かわべ保育所：４名　　社協：１名

11. ボランティアセンターの運営等

ボランティアセンターは誰もが気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点として、より多くの皆さまにボランティア活動に関わっていただけるように、活動先や活動に関する情報の提供等を行った。

〇ボランティア数
▹ボランティアグループ数　登録１４グループ（川辺８、中津１、美山５）
▹ボランティア総数　　２００名　　（川辺９０名、中津４４名、美山６６名）

ボランティアセンター関連業務内容は、次のとおり
▹ふれあいにっこり弁当の調理配達ボランティアの調整
▹ふれあいいきいきサロンへの参加とグループに関する調整
▹外出支援における運転ボランティアの調整
▹ボランティア保険等加入手続き
▹ボランティア活動団体支援・助成

12. 地域たすけあいサービス事業

他から援助を受けることが困難な世帯に対し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう社協に登録した協力員がお手伝いをする住民参加型の福祉有償サービスである。

地域で安心して暮らしていけるよう公的サービスだけでは、まかないきれない地域のニーズを解決するために有償の家事援助等のサービスを提供した。

核家族化が進み、価値観が多様化した現在では、昔ながらの地域の支え合い機能が低下してきている。一方で、日常生活の困りごとを何とかしたいというニーズもある。「地域たすけあいサービス」は、地域にお住まいの方の協力を得ながら、「お互いさま」の気持ちで支え・助け合える風土づくりを進めるしくみである。

※サービス利用は次のとおり　（　）内は前年度

提供回数	延べ時間
３１５回　複数作業含む （３００回）	２１６．０時間 （２６３．５時間）

▹利用者数　　１４名（川辺１０名、中津３名、美山１名）
▹提供協力員数　　１０名（川辺６名、中津３名、美山１名）
▹件数　　３１５件

【内訳】

▹住居等の清掃・整理整頓　※粗大ごみ運搬含む　１４５件
▹調理　３４件
▹買い物　１８件
▹洗濯　６７件
▹庭等の草刈り・剪定　１０件
▹外出介助　１１件
▹その他　３０件

13. ひとり親家庭新入学児童ランドセル購入助成事業

町内に住んでいる令和８年４月に小学校に入学する子どもさんがおられる児童扶養手当を受給しているひとり親家庭（母子・父子）、または両親ともおられないご家庭で、助成を希望される方にランドセル購入代金の範囲内で上限２万円を助成する事業である。

▹助成件数　１件

14. 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター関係）

町の委託（令和２年度～）により、町全域で第１層コーディネーター、旧町村単位で第２層生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターと協働し、『生活支援体制整備事業』を推進している。今年度は、中津地区のお宝探し講座やお宝発表会を行い、地域にどのような支え合いがあるのか、また住民の普段の暮らしの中から支え合う関係性を再確認した。

〇生活支援コーディネーターの活動状況

▹第１層コーディネーター　７０回
▹第２層コーディネーター１１５回
▸お宝探し講座（中津地区）・・・１０月３日（金）　２５名参加
▸お宝発表会（中津地区）・・・２月１４日（土）　３４名参加
▸ふれあいいきいきサロンへの参加
▸地域包括支援センターとの打ち合わせ会議
▸協議体への参画等

〇協議体の委員会の開催

▹第１層協議体　令和８年３月１６日
▹出席者　７名

15. お買い物支援事業

買い物に不便を感じている町内居住のひとり暮らし高齢者等を、スーパーマーケット等に送迎し、外出や生活支援及び社会参加を支援する。当日、集まった利用者で行先を相談し実施する。行事保険代として利用者から３００円をいただいている。

４月２０日（日）　上越方　２名参加　　行き先　　御坊方面
５月１８日（日）　川原河　２名参加　　行き先　　御坊方面
６月２２日（日）　皆瀬　　参加者なし
９月　７日（日）　李　　１名参加　　行き先　　有田方面
１０月１１日（土）　阿田木　参加者なし

16. フードドライブ事業

令和６年４月よりご家庭で余っている食品を集めて、支援が必要な方や団体へ届ける活動を開始した。この事業は食品ロスを防ぐことも一躍担っている。

▹寄付者　　延べ１５名　１３４点　▹生協寄付　３８０点⇒延べ４１名　３８０点提供
▹物品提供　　延べ５１名　　７８４点

17. 在宅介護者の集い

ねたきりや認知症の高齢者等を在宅で介護されている方を対象に、少しでも日頃の介護疲れを癒し、同じ悩みや経験を持つ方々と交流することで、今後の介護の励みにして頂くことを目的に実施した。

▹日　時　　令和８年３月１２日（木）　　▹参加者　　５名
▹行き先　　白浜方面

福祉サービス利用支援部門

１．相談事業

（１）ふれあい相談（人権・登記・心配ごと相談）

日常生活での心配ごとや悩みごとを相談できる相談所を開設し、相談員が適切に相談を受けた。状況に応じ専門機関に繋いだりもした。広報としては相談所開設予定表を全戸配布、開設日前日に町内放送で開設日の周知をした。困ったことがあればいつでも相談に応じる体制を取っている。

≪相談員体制≫

民生委員児童委員９名、人権擁護委員３名、社協三役３名　計１５名

≪開設回数ならびに時間≫

旧町村ごとに月１回　午後１時～３時の事前予約制（相談者があれば対応する方法）

≪相談件数≫　　３件（川辺　２件　中津　０件　美山　１件）※前年度９件

（２）法律相談等（弁護士による相談）

今年度も３回開設し、日常生活上での法律に関わるすべての問題に弁護士が相談に応じた。町民の相続・離婚・金銭関係・土地・交通事故・相続等の法律上の相談に弁護士が応じ、問題解決に向けてのアドバイスをして頂いた。

≪相談件数≫　　１３件（川辺２件　中津７件　美山４件）※前年度１３件

（３）調停相談（調停委員による相談）

調停は裁判のように勝ち負けを決めるのではなく、話合いによりお互いが合意することで、もめ事の解決を図る手続きである。

▹開設日　８月２６日（川辺）　１２月２３日（中津）　３月１０日（美山）
▹来談者　　０名　　０名　　１名

２．福祉サービス利用援助事業

日常生活を送るうえで、自分ひとりでは判断することが難しい障がい者の方々が安心して生活が送れるように、色々な手続きのお手伝いや日常的な金銭管理等の援助を行った。

サービスにあたっては、専門員として本会職員が担当し、生活支援員３名と情報共有しながら支援した。また、関係機関とも連携し、利用者の生活課題等に対応し、利用者が日常生活にどの程度のお金が必要かを一緒に考え、計画的にお金が使えるよう支援をした。また金融機関の預貯金の預け入れや引き出し等が困難である場合には代行し、公共料金の支払いや手続き、大事な通帳や印鑑の保管等も行い利用者に寄り添った安心のできるサービスとして実施してきた。

▹利用者　５名（高齢者０名　知的障がい者１名　精神障がい者３名　その他１名）
▹サービス提供回数（訪問・電話等）　　７２回
▹新規契約　　１件
▹解約（グループホーム入所）　　１件

３．資金貸付事業

（１）生活福祉資金貸付事業（本則）　【県社協貸付】

この事業は、低所得世帯への資金の貸付と相談支援を行う制度である。また、その中でも障がい者世帯や高齢者世帯のみが利用できるものもある。

▹新規の貸付　２件
▹現貸付者数　９件

（２）生活福祉資金特例貸付事業（コロナ資金）　【県社協貸付】

令和５年１月から緊急小口資金・総合支援資金の償還が始まり、引き続き貸付世帯への償還支援を行った。隔月、自立相談支援機関の職員と共に個別訪問をし、生活状況等を聞き取り、生活困窮者や金銭管理に問題を抱える人等へのフォローアップを行った。

（３）生活資金特別貸付制度【町社協の資金貸付事業】

この貸付資金は低所得者世帯に対し必要な援助を行い、安定した生活を営むことが出来るようにすることを目的とした無利子の貸付制度である。

今後も貸付相談があれば、世帯の実情、家計収支、将来の見通し、償還計画等を詳細確認しながら、単に貸付するだけでなく、社協の相談機能を活かし背景にある問題を解決していきながら関係機関および民生委員児童委員との連携を図り自立に向けた相談援助を進めていきたい。

▹貸 付 中　　４名（令和８年３月末）

▹新規貸付　　１件⇒３万円以下

▹償還完了　　２件

在宅福祉サービス部門

１．訪問介護事業（高齢者・障がい者）

介護保険法ならびに障害者総合支援法に基づき、要介護・要支援者へホームヘルパーによる訪問介護を提供し、在宅生活の支援を行った。

訪問介護員（ホームヘルパー）が、介護者（要介護者・要支援者・障がい者）の自宅を訪問し、利用者が在宅で自立した日常生活が送れるように食事・入浴・排泄等の身体介護をはじめ、掃除・洗濯・調理などの家事面における生活援助等の支援を行った。

介護職員の処遇改善や職場環境の改善に向けた取り組みを推進するとともに、介護職員の質を向上し、より良いサービスを提供できるように努めている。

◇利用者等状況　　（　）内は前年度

	介護保険		障害者総合支援	稼働ヘルパー数
	要介護	要支援		
4月	２２名（25名）	２１名（21名）	６名（6名）	１４名（14名）
5月	２５名（27名）	２０名（20名）	６名（6名）	１４名（15名）
6月	２８名（27名）	２０名（20名）	６名（6名）	１４名（15名）
7月	２７名（25名）	２１名（22名）	６名（6名）	１４名（15名）
8月	２７名（25名）	１９名（21名）	６名（5名）	１４名（15名）
9月	２６名（25名）	２０名（21名）	６名（6名）	１４名（15名）
10月	２６名（24名）	１７名（21名）	６名（6名）	１４名（14名）
11月	２４名（23名）	１９名（22名）	６名（6名）	１４名（14名）
12月	２９名（23名）	１９名（23名）	５名（6名）	１４名（14名）
1月	２８名（22名）	１９名（23名）	５名（6名）	１４名（14名）
2月	２８名（21名）	１６名（22名）	６名（6名）	１４名（14名）

3月	２７名（28名）	１７名（20名）	６名（6名）	１４名（14名）
合計	３１７名（295名）	２２８名（256名）	７０名（71名）	平均　14名(14.4名)

２．訪問入浴介護事業（高齢者・障がい者）

介護認定を受けた方で、自力での入浴が困難な方や、様々な理由によりデイサービスなど福祉サービスの利用が困難な方を対象に、身体の清潔を保持、心身機能の維持を図るため、自宅を訪問し入浴サービスを提供した。訪問入浴を行う事業者は町内では社協だけである。

◇利用者等状況　　（　）内は前年度

月	利用者数	訪問回数	従事したスタッフ数
4月	４名（3名）	１６回（23回）	４名
5月	５名（4名）	９回（26回）	４名
6月	２名（4名）	４回（22回）	４名
7月	２名（4名）	８回（18回）	４名
8月	２名（4名）	５回（16回）	４名
9月	０名（4名）	０回（21回）	
10月	０名（4名）	０回（20回）	
11月	０名（4名）	０回（18回）	
12月	０名（4名）	０回（18回）	
1月	０名（6名）	０回（18回）	
2月	０名（6名）	０回（20回）	
3月	０名（7名）	０回（14回）	
合計	１５名（54名）	４２回（234回）	

３．居宅介護支援事業（高齢者）

介護保険法に基づき、要介護・要支援認定者にケアマネジャーがケアプランを作成し、介護保険施設、医療機関との連絡調整、また介護に関する相談支援等を行った。介護保険サービス等の内容について、ご本人や家族と十分に話し合ったうえで、サービス計画の作成やサービスの利用、その他介護に関するいろいろな事柄について支援を行った。

◇利用状況　　（　）内は前年度

▸居宅介護支援事業

月	利用者数	
	要介護	要支援
4月	３２名（35名）	２３名（23名）
5月	３３名（34名）	２３名（23名）
6月	３５名（35名）	２４名（24名）
7月	３４名（35名）	２５名（25名）
8月	３４名（35名）	２４名（24名）
9月	３５名（37名）	２４名（24名）
10月	３３名（37名）	２２名（22名）

▸認定調査

月	件数
4月	８件（2件）
5月	１件（1件）
6月	４件（5件）
7月	３件（1件）
8月	３件（5件）
9月	５件（4件）
10月	４件（3件）

11月	３１名（36名）	２３名（23名）		11月	５件（6件）
12月	３５名（37名）	２４名（24名）		12月	４件（4件）
1月	３６名（34名）	２４名（24名）		1月	４件（1件）
2月	３６名（31名）	２３名（23名）		2月	６件（3件）
3月	３９名（32名）	２３名（23名）		3月	９件（6件）
合計	４１３名（418名）	２８２名（282名）		合計	５６件（41件）

４．福祉用具無料貸出等

在宅の高齢者および障がい者等に対し、日常生活を援助し自立支援を図ることを目的に、社協が所有するベッドや車椅子を貸出した。介護保険の介護認定を受けておられない方や、介護保険認定までのつなぎ期間の方、または入院中の外泊等の場合に一時的に利用された。

介護用ベッドは介護保険制度の福祉用具レンタルの非該当者で且つ所得税非課税世帯への貸出とし、一方、車椅子は介護保険制度のレンタル等に関係なく必要であれば随時貸出をし、利用者や家族には好評であった。

介護認定されている方には、出来るだけ介護保険制度のレンタルを利用していただき、社協の貸出はあくまで認定されるまでのつなぎや傷病等による方への貸出としている。（介護保険制度優先であくまで補完的な役割）

▸保有台数と利用状況

	保有台数			貸出利用人数（延べ）		
	川辺	中津	美山	川辺	中津	美山
介護用ベッド	０台	５台	５台	０件	１件	３件
エアーマット	０台	１台	２台	０件	０件	０件
車椅子	１６台	４台	４台	４４件	３件	３件
歩行器	１台	２台	０台	０件	０件	０件
計	１７台	１２台	１１台	４４件	４件	６件

５．家族介護用品（紙おむつ等）支給等事業

おおむね６５歳以上で寝たきり状態にある在宅の高齢者を介護する家族等に紙おむつを支給した。在宅介護において紙おむつを使用されている方は、毎日の必需品であるので、この事業を利用する方も多く、所得によって費用負担が無料となるので経済的な負担も軽い。

この事業は町の委託を受け実施しており、介護者家族の経済的負担の軽減はもとより、日常的におむつ等を必要とする高齢者等の在宅生活を支えている。

また、町内で紙おむつ等を販売している店も少ないので、遠方に買いに行かなくても、最寄りの社協で購入できるので介護者には好評である。なお、購入するのに交通手段がない方には自宅までの配達も行った。

▸利用者内訳

	日高川町			
		川辺	中津	美山
無料	２３名（30名）	１１名	４名	８名
全額負担	２５名（32名）	９名	３名	１３名

身体障がい者	５名（３名）	４名	１名	０名
計	５３名（65名）	２４名	８名	２１名

その他

１．善意銀行運営事業

今年度も善意銀行に町民の皆さまから多額の寄付金を寄せていただき、地域福祉事業に有効に活用させていただいた。地域福祉活動の貴重な財源として一般会計への繰出、杖が必要な方への杖（善意の杖）の無料配布を行った。

今後も町民の皆さまから寄せられる寄付金や物品は、寄付者の意志を活かした運用に努め、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのために活用させていただきたい。

〇善意銀行寄付金

	件数	金額	備考
香典返し	４件	２８０，０００円	
満中陰志	１７件	９９０，０００円	
一般寄付	２７件	８２７，２７５円	
合計	４８件	２，０９７，２７５円	前年度　48 件　7,964,380 円

〇善意銀行配分事業（善意の杖）

▹申請者数　　３０名（川辺１６名　中津５名　美山９名）

２．共同募金（赤い羽根募金）

戸別募金は、区長をはじめ各地区の協力により、役場、企業、学校、保育所等から職域募金、学校募金等多くの方々からご協力をいただいた。

なお、街頭募金は１０月４日 道成寺、Ａコープかわべ店、ローソン川辺町小熊店、道の駅 SanPin 中津、道のほっとステーションみやまの里をお借りし、役員と事務局で募金活動を行った。また、１１月９日開催の日高川フォレスト祭（美山地区）においては、民生委員児童委員の協力のもと募金活動を行った。

〇共同募金の実績額　　１，７９６，０３４円　　※前年度１，８６０，３６５円

［内訳］

▹戸別募金　　１，６０７，５００円

▹街頭募金　　５８，１９１円

▹職域募金　　９０，１６３円

▹学校･保育所募金　　４０，１８０円

３．防災グッズ（非常用保存セット）の配布

在宅で生活されている、満７５才以上になられた一人暮らし高齢者に、担当の民生委員児童委員や事務局から防災グッズをプレゼントした。災害時等への備えと防災意識の動機づけをしてもらうことを目的に毎年配布している。

〇 配布数　　２９名（川辺　１５名　中津　５名　　美山　９名）※前年度３８名

４．社会福祉協議会会長感謝状の贈呈について

当会の活動に長年にわたり、ご尽力賜った方々に理事会の席上、会長より感謝状を贈呈した。

〇表彰日　　令和７年６月５日（木）

〇場　所　　日高川交流センター

〇表彰者

▹森本久栄様（土生）　ふれあいにっこり弁当調理ボランティアとし26年間活動された。

▹山本良子様（蛇尾）　ふれあいにっこり弁当調理・配達ボランティアとし14年間活動された。

▹堀　千鶴子様（船津）　ふれあいにっこり弁当調理ボランティアとして27年間活動された。

▹杉谷京子様（原日浦）　福祉委員として12年間活動された。